

おしえて！ふくろうさん！



日に日に秋が深まってきました。いかがお過ごしでしょうか。今年度最初の「おしえてふくろうさん」は、この夏に行われた日本連盟主催のキャンプと今月に行われた群馬県連盟主催の野外研修会についてお伝えします。対面での活動も工夫しながら行えるようになってきました。これからも歩みを進めるガールスカウトでありたいと思います。



情報に関する問い合わせや、こんなことが知りたい！という要望は、各地区の指導者委員へどうぞ。お待ちしております！！

**日本のガールスカウト 100周年記念国際キャンプ
“Girls Can Change the World” camp**
実行委員やプログラムに参加したリーダーの声をお届けします！

54 団 安達綾乃【全体実行委員】

私は今回のキャンプに全体のプログラムや体制を考え、全国で行われるキャンプをとりまとめる「全体実行委員」という形で関わりました。新型コロナウイルスの影響で、実施時期が1年延期になり、会場数も大幅縮減の7会場、海外からの参加者はなし等、当初の計画とはかなり異なったキャンプになりましたが、ストップしていた全国規模の宿泊事業を再開することができ、スカウトが全国各地で集うことができたのはこの事業の大きな成果だったと思います。やはり対面で、同じ空間・空気を共有する体験は大切だと感じました。また、今回のキャンプにはどの会場にも多くのユースやヤングのスタッフが参加しており、日本の若者の力の大きさを感ずることができました。このキャンプに関わってくださった皆様に感謝しております。来年度は群馬県連盟のみんなとキャンプができればいいな…と思いながら秋を迎えます。



Day2 インターナショナルナイト



Day3 富岡製糸場見学



Day4 オープンイベント

5 団 大友みのり【現地実行委員】

赤城会場で、主にプログラムの内容の企画と実行を担いました。自分自身初めてとなる GE プログラムの提供は苦戦することも多くありました。しかし、スカウト達の生の反応を見ながら修正、変更を加えながら何とか実践することができ、これはオンラインでは得られない収穫だと感じました。また、海外連盟（群馬はシンガポール）のリーダーとやり取りをしながら、日本のスカウトと海外連盟のスカウトが直接繋がる企画をしたことは大きな挑戦となりました。久しぶりの全国規模の対面での事業、様々な地域から集まったスカウトの笑顔がたくさん見られて本当に良かったです！指導者という立場になっても、このように新たな学びと挑戦のチャンスを受けたことに感謝しています。

11 団 宮崎瑞穂【現地実行委員】

5日間のうち、Day3は待ちに待ったご当地プログラムでした！朝早く出発し、いざ群馬が誇る★世界遺産！富岡製糸場ツアーへ。お昼は「登利平」をいただきました。そして、おやつはもちろん焼きまんじゅう♡日連事業にも関わらず、群馬県連盟のサポートがもうめちゃくちゃ手厚くて…！これら企画・準備の大半を担ってくださったんです！一緒に現地実行委員をしていただいた愛知や茨城のスタッフも感動しておりました。群馬県連盟には、人のために動いてくださる方がとっても多いですね！！

キャンプに際して多くの方々の協力があり、期間中「リーダー！リーダー！」と慕ってくれるスカウトがいて、世代を超えてスカウト活動の魅力がしっかり伝わっていくといいなあと思っていました。

64 団 竹村成美【イベント参加】

オープンイベントにオンラインで、赤城会場にジュニアスカウトと共に参加しました。シニア・レンジャーがキャンプで得た力を発揮して、小学生でもとても楽しく【ジェンダー5】の対面式バッジにつながる内容を、画面いっぱい手書きのイラストやキラキラ瞳のアニメ風なお面でのスタンプで表現をしていました。全国のガールスカウトの方々と、楽しい時間を赤城会場で共有できたのは、貴重な体験！鳥取のリーダーの方が、ぐんまちゃんのポストインデックスを画面に映してアピールしてくれて嬉しかったです♡

「はい、群馬64団さん」と、呼ばれる事が多かったですが・・・（笑）

他にも、キャンプディレクターや当日スタッフとして群馬のリーダーが活躍しました！

野外研修2022 レポート

日時 10月8日(土) 9:50~15:00
会場 伊勢崎市青少年育成センター
テーマ 野外はおまかせ!!
参加者 17名・トレーナー6名

キャンプの技術の再確認と
新たな技術の習得、
コロナ過でもできる野外活
動を体験しました!

~当日のプログラム~
9:50 開会式
10:00 ポイントハイク
11:30 昼食作り
13:30 キャンプクラフト
14:45 閉会式



救急法「そなえよつねに」

いざという時の技術を備えるために、
今回の救急法では毛布とトレーナー(3枚)を使った担架作りと
実際に担架に乗ってみる体験をしました。

[指導者の姿勢]

- ①ボタンがあるものや布地が弱っているものは使わない。
- ②竹の強度を確認する。
- ③持ち上げるときは「せーの」等の掛け声をかけて、合わせて行う。



＼せーの!!!／



キャンプクラフト

今回の野外研修のクラフトは、キャンプクラフトでした。
午前中に学んだ角しぼりや筋交いしぼりなど基本的なことを応用して、
午後は各パトロール、竹を利用したキャンプで使える物を作りました。



旗揚げポール



立ち釜戸



物干し台



長靴干しと台

野外科理

ウィズコロナの中、個食を意識し、加えてまな板包丁なしの、簡単メニュー
としました。冷凍たまねぎ、しめじ、バターをのせた☆魚のホイル焼き・4つ
切りの食パンにハム・チーズを挟んだ☆カートンドック・ささっと簡単☆イン
スタントスープ・☆紅茶・デザートには王道の☆サンモアを、空の下でいた
だきました。久々の野外研修でしたが、リーダーの皆さんは、火起こし、調理、
後片づけと手際よく、すぐに勘を取り戻していました。



◎講習のご案内◎

◆12月9日(金) GEリーダー育成研修(日本連盟主催)
申し込み期間 10月7日(金)~11月14日(月) 9:00 先着150名

申し込み詳細は、10月5日付の団発信文書または日本連盟ホームページを
ご確認ください。